

1 入札時における過去の無効事例等について

入札に際し、初歩的なミスにより無効や失格となる事例が発生しております。つきましては、注意を要する項目として、代表的なものをお示ししますので入札にあたっては、ご留意願います。

1	工事費内訳書等に記載の住所、企業名、代表者名に誤りや記載漏れがないか。 (無効・失格例) ○ 企業名の記載がない。
2	工事費内訳書等の工事名、路線名等、工事箇所 [※] に誤りや記載漏れがないか。 (無効・失格例) ○ 別の工事名が記載されている。
3	工事費内訳書の合計額は入札額と一致しているか。また、違算や計上漏れはないか。 (無効・失格例) ○ 工事費内訳書の合計額と入札額が一致していない。 ○ どの項目にも金額の記載がない。 ○ 数値の代わりに文字が入力されている。
4	I Cカードについて適正な使用ができているか。 (無効・失格例) ○ 代表者等が変更になっているにもかかわらず、変更前 I Cカードを使用。

★ 入札にあたっては入札心得等を十分に確認してください！